

放送大学学位記授与式

卒業・修了生6千名超「今後も学び続けます」

放送大学の2025年度学位記授与式が3月20日、東京・新宿区のベルサール高田馬場で執り行われた。今年度の学部卒業生は5812名、修士課程修了生193名、博士後期課程修了生7名。授与式には、全国から多数の卒業生と修了生、またその家族らが参加して、卒業の喜びを分かち合った。

学位記授与式では、岩永雅也学長から卒業

生・修了生代表に卒業証書・学位記が授与された。岩永学長は式辞で「124球以上のキックボールを無事に終え、あるいは修士論文、博士論文といった快速球・剛速球を投げ返してこられたことに心より敬意を表します。ただ、本日が最終着地点だとは思わないでください。投球・捕球の技術同様、教養はそれを使うこと、そして、さらに磨き上げて豊かにしていくことに本当の意味があります。身に着けた教養を武器に、ここから高い次元の知的活動に進んでいただきたいと心から願っています。おめでとう」と語りかけた。



多くの卒業生が集い、卒業の喜びをともに分かち合った(ベルサール高田馬場)



来賓の清水文科大臣政務官 岩永学長(左)から卒業証書等が手渡された。学位記授与式では、岩永学長から卒業生・修了生代表に卒業証書・学位記が授与された。岩永学長は式辞で「124球以上のキックボールを無事に終え、あるいは修士論文、博士論文を投げ返してこられたことに心より敬意を表します。ただ、本日が最終着地点だとは思わないでください。投球・捕球の技術同様、教養はそれを使うこと、そして、さらに磨き上げて豊かにしていくことに本当の意味があります。身に着けた教養を武器に、ここから高い次元の知的活動に進んでいただきたいと心から願っています。おめでとう」と語りかけた。